

**UR都市機構、板橋区、トヨタモビリティ東京㈱が連携協定を締結
～団地居住者等に向けたモビリティサービス提供等に関する連携を強化～**

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）、東京都板橋区（以下「板橋区」）、トヨタモビリティ東京㈱（以下「TM東京」）は、高島平駅前の交通結節機能を強化し、次世代モビリティの導入に向けた都市空間を形成するとともに、高島平団地等の持続的な価値の向上を目指すため、令和5年3月29日に連携協定を締結しました。

3者は高島平地域や高島平団地が抱える課題への対応だけでなく、地域の人々のいきいきとした生活を支えるため、都市のライフスタイルの価値を高めながら、都市交通インフラの充実と戦略的なまちづくりを進めることで、同地域や同団地の価値向上を目指します。



左から、UR都市機構東京北・埼玉地域本部長 内島敏之、
東京都板橋区長 坂本健、TM東京代表取締役社長 佐藤康彦

【お問い合わせ先】

UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

高島平再生事務所企画調整課 (電話) 03-6907-0979

総務部総務課 (広報担当) (電話) 03-5323-2555

1. 締結者

- ・ 独立行政法人都市再生機構東日本賃貸住宅本部 東京北・埼玉地域本部長
内島 敏之（うちじま としゆき）
- ・ 東京都板橋区長
坂本 健 （さかもと たけし）
- ・ トヨタモビリティ東京株式会社
代表取締役社長 佐藤 康彦（さとう やすひこ）

2. 締結の背景

UR都市機構と板橋区は、高島平地域の持続的発展が可能なまちづくりを推進するため、令和4年3月30日に「高島平地域の連鎖的都市再生の推進に係る基本合意」（以下「基本合意」）を締結しました。

両者は、基本合意に基づき、板橋区所有地の活用や、UR都市機構が所有する全国最大規模となる高島平団地の団地再生、持続的な地域価値の向上に資するエリアマネジメント、民間事業者との連携体制の構築等を共同で検討しています。

TM東京が高島平駅前の交流を促進するために板橋区が定めた区域（交流核）にエリア拠点を有しており、3者が高島平団地を含む高島平地域の持続的発展に向け、連携を強化することが有効と認めたことから、本協定の締結に至りました。

3. 連携事項

- 地域の活性化及び区民・団地居住者に向けたサービスの向上に関する事
- 高島平駅周辺等における交通結節機能の強化に関する事
- 地域内及び地域の周縁部における回遊性の向上に関する事
- 環境に配慮した次世代モビリティサービスの提供及び利活用に関する事
- 交通ネットワークの強化及び次世代モビリティの導入に向けた都市空間の形成及び活用に関する事
- 安心・安全及び防災に関する事
- 地域課題及び団地課題の収集及び解決に関する事
- 区民及び団地居住者に対するまちづくりの情報発信及び普及啓発に関する事

○板橋区 高島平地域都市再生実施計画（板橋区ホームページ）

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/bousai/machidukuri/chiiki/1031335/1037916.html>

○UR賃貸住宅ストック活用・再生ビジョン（UR都市機構ホームページ）

https://www.ur-net.go.jp/chintai_portal/stock/index.html



UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR 都市機構は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。